

山岳古道「椎葉村を巡る古道：向霧立越」調査

向霧立越調査① 宮崎県椎葉村萱野登山口～五勇山

2021.9.23(木)、24(金)：向霧立越の宮崎県側の入口の一つ、椎葉村萱野登山口から五勇山までの現地調査

(9/23) 椎葉村観光協会を訪ね椎葉村史のコピー等を提供してもらおう。この日はテント泊。

(9/24) 4:00 起床、撤収、5:30 出発移動開始、5:50 尾手納地区公民館の少し上、村道尾手納線終点、五勇山・国見岳登山口着、準備中に近くの甲斐益男さん(役場勤務)と会いしばし立ち話。登山者もいくらかあり、山道を刈り払ったり整備していて、道ははっきりしているという。6:00 登山口の写真を撮り出発、6:18 右岸を5分行くとロープを渡した沢、少し足が濡れるほどで渡渉。すぐ上流に5mほどの滝がある。檜林に入り左折、杉の伐採地をジグザグに登っていく。地図ではかなりの急登と思えたが、しっかりした径でジグザグにとれば牛馬でも登れる。駄賃つけ道として使えたということが頷ける。しばらく檜林や杉林、地図にある小道からはかなりずれているよう。7:10 涸れ沢、少し水の音、杉から広葉樹に変わる。7:30 沢で左折、7:39 また沢、水少し、ヒメシャラ、トガ、ブナ等、多くなる。8:18 ミズナラの大倒木を越え左カーブ、ブナ、ミズナラの大木。8:30 尾根筋、石堂屋から国見岳・五勇山への稜線に突き当たる。スズタケを払ってある。小休止後8:43 出発。カエデ、ミズナラそしてブナの大木が多くなり、深山幽谷の様を呈してくる。P1644mに登らず、左側斜面をトラバース、9:19 尾根に出る。アセビ、シャクナゲが見え、右斜面を行くようになると五勇山も近い。9:30 五勇山頂1664m着。急登はなく着いた。牛馬も通行可である。ここから左は鳥帽子岳へ、右は国見岳へと分岐する。今回の古道調査としてはここまでとする。

椎葉村萱野 国見岳登山口



萱野の登山口からすぐの渡渉点



渡渉後すぐの急勾配の造林伐採地



萱野から五勇山への登り



五勇山～石堂屋の歩道に突き当たる



五勇山への稜線は深山の趣



五勇山から国見岳(右)への分岐点

